

参 照 …… 用語の解説（50音順）

1 インフォームド・コンセント

患者個人の権利と医師の義務をさす言葉。患者には医療上の自己の真実を知る権利があるので、医師は個々の患者が理解し納得できるように説明する義務がある。

2 HIV（エイチ・アイ・ブイ）

ヒト免疫不全ウイルスのこと。一般にヒトに免疫低下を起こすウイルスとその感染による免疫不全症候群（エイズ 後天性免疫不全症候群）と合わせて使われることが多い。

性交渉による青壮年や妊娠から子どもにも感染するとされるが、輸血や血液製剤などによる血液感染は、薬害エイズとして社会問題となった。エイズを発症すると肺炎などの感染症や悪性腫瘍を合併し死に至ることもあると言われているが、正しい知識と適切な治療により防ぐことができる。

3 NPO（エヌ・ピー・オー）法人

非営利組織。政府や私企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで、社会的な公益活動をする組織・団体をいう。

4 社会モデル

社会モデルとは障がいのある人が受ける社会的不利は社会の問題だとする考え方。障がいのある人とは、社会の障壁によって能力を発揮する機会を奪われた人々と考える。たとえば、駅で電車に乗るとき車いすを使って階段を上れずに電車に乗れないのは、エレベーターがないという障壁のためであり、このように社会が能力を発揮する機会を奪っているということ。エレベーターが設置されていれば、1人で2階に行けるので移動の自由が保障される。一人で外出できない障がいのある人でも、ヘルパー利用など、社会サービスが充実していれば、外出することができる。このように、社会モデルは、身体能力に着目するのではなく、社会の障壁に着目する考え方である。

5 情報バリアフリー

障がいのある人の社会参加を困難にしている社会的、経済的、心理的な全ての障壁の除去という意味で用いられる用語が「バリアフリー」（17参照）であり、情報を入手したり、伝達するための障壁（バリア）を除去しようとするものである。

6 女性の性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス／ライツ）平成6（1994）年の国際人口開発会議において提唱された。男女が互いの身体的特徴を理解しあい、全ての人々が身体的、精神的、社会的に良好な状態を保持し、妊娠・出産の調整を始めとする性と生殖に関する健康を権利として捉えようとする概念をいう。

7 ストーカー

同一の者に対し、つきまとい、待ち伏せ、押しかけ、見張り、監視していると告げる行為、面会・交際の要求、粗野・乱暴な言動、無言電話、連続した電話・ファクシミリ、汚物などの送付、名誉を傷つける、性的羞恥心の侵害を繰り返して行うことをいう。

8 性別による固定的役割分担意識

「男は仕事、女は家庭」あるいは「男は外、女は内」など、男女の役割を固定的にとらえる考え方、意識をいう。

9 性的マイノリティ

性的少数派のこと。性同一性障害、同性愛者などの性に関する少数派に属している人全般をさす。

10 成年後見制度

認知症の高齢者や知的・精神障害のある人など判断能力が十分でない成人を支援するための法律上の制度。代理権や同意権・取消権が付与された成年後見人等が認知症高齢者等判断能力が十分でない人の財産管理や身上監護（介護、施設への入退所などの生活について配慮すること）に関する契約、遺産分割などの法律行為全般を行い、当事者を保護し支援する制度。

11 セクシュアル・ハラスメント

一般には雇用の場での性差別の具体的な現れとして起きる「性的いやがらせ」をさす。身体への不必要な接触、性的関係の強要、性的なうわさの流布、衆目にふれる場所へのわいせつな写真の掲示などが含まれる。

雇用の場だけでなく、学校におけるスクール・セクシュアル・ハラスメントやキャンパス・セクシュアル・ハラスメント、病院や福祉施設などで患者や障害のある人が被るハラスメントも深刻な問題となっている。

12 DV（ドメスティック・バイオレンス）

一般的には配偶者や恋人などの親密な関係にある、またはあつた人から加え

られる暴力をいう。

13 デート DV

デート DV は同棲していない恋人間での体、言葉、態度による暴力のこと。親密な相手を思い通りに動かすために複合的に使われるあらゆる種類の暴力を指す。

14 ノーマライゼーション

障がいのある人や高齢者などの社会的に不利を負う人々を当然に包含するのが通常の社会であり、そのままの姿で他の人々と同等の権利を享受できるようにするという考え方をいう。

15 パワー・ハラスメント

同じ職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境を悪化させる行為をいう。上司から部下に行われるものだけでなく、先輩・後輩間や同僚間、さらには部下から上司に対して様々な優位性を背景に行われるものも含まれる。

16 ハンセン病

ノルウェーの医師ハンセンが発見したライ菌の感染によって起こる感染症のこと。発病することは稀だが、潜伏期は3年から20年にも及ぶことがあるため、かつては遺伝病と誤解されたこともあった。仮に発症しても現在では、治療法も確立され確実に治癒できる病気である。

17 バリアフリー

本来、住宅建築用語として、障害のある人が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となる段差などを取り除くという意味であるが、広くは、障害のある人の社会参加を困難にしている社会的、経済的、心理的な全ての障壁の除去という意味で用いられる。

18 病気にかかわる人

「病気にかかっている人、病気にかかわっていた人、またはその家族、遺族」のほか、医療・保健関係職員など病気にかかわる業務に従事している人をいう。

19 ユニバーサルデザイン

障がいのある人や高齢者を含む全ての人が使いやすいように、製品、建物、環境、空間、まちづくり等をデザインすることをいう。福祉の分野から提唱された考え方で、障害のある人や高齢者なども含めて全ての人が使うことを想定して製品のデザインをすれば、全ての人が等しく使える製品ができるという考え方である。

この考え方の原点には、全ての人が等しく社会の一員として尊重されるべきであるという考え方があり、ユニバーサルデザインを推進することは、一人ひとりが尊重され、全ての人が自己実現を可能とする社会の実現をめざすことであり、バリアフリーやノーマライゼーション(14 参照)の理念にもかなうものである。

ユニバーサルデザインの視点で本市のあらゆる分野における各種の施策を立案し、計画し、実施することによって、本市の施策全般にわたり人権尊重都市の実現を推進しようとするものである。